

今月の15首

佐佐木幸綱・選

やわらかな曙やさしき夕茜天はしずかに姉妹を生みぬ

中西由起子

青春をSSと略す学生が黒板の棧の隅までを拭く

大津 貴寛

おとがひの滑る一瞬初春の雲を映せるノートに手は落つ

祖母井美香

どこが好きと聞けば尾を振る姿だと夫は答えぬ我に尾はなし

峰 由美子

少しずつ薔薇色帯びてゆく宇宙 天文学者の晩酌進む

武藤 義哉

よその家に少し眠りてよその家の匂いの子 母はさみしい

堀越 貴乃

東南の光に巻かれ耳として組立てらるる朝の軟骨

岸並千珠子

天日干しにされた布巾の健やかに新入部員は並んで走る

須藤 歩実

このシネマ登場人物全て皆幸せ得ざるを不思議がる評

佐藤 博之

冬の河越えれば旅ゆくところあり青砥、曳舟、高砂を過ぐ

奥山かほる

陰謀のひとつも持ってなさそうな国にやすやす替わる為政者

屋良健一郎

葉の陰に啼く声一羽の鶉が友を呼ぶらむ赤き実のあり

高山美智子

一人称所有格の「の」 本日は何度言ったか数えつつ帰る

植山 俊宏

御御御付 祖母の来ていた割烹着 冬の朝の厨の記憶

森屋めぐみ

子なき嫁のこれからを思ふ冬の日をどうしていますか姑は日向ぼこ

塩地やゑ子